

METHOD AND DEVICE FOR PREPARING DATA FOR BUSINESS MANAGEMENT AND DATA CHART FOR BUSINESS MANAGEMENT

Publication number: JP8297695 (A)

Publication date: 1996-11-12

Inventor(s): SAITO TAKAO +

Applicant(s): READ COMPUTER KK +

Classification:

- **international:** G06F19/00; G06Q10/00; G06F19/00; G06Q10/00; (IPC1-7): G06F17/60; G06F19/00

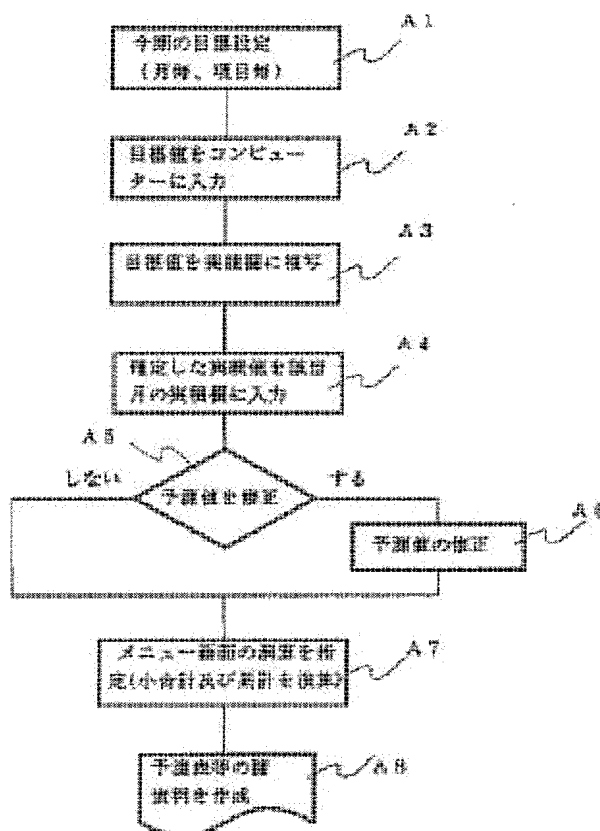
- **European:**

Application number: JP19950101272 19950425

Priority number(s): JP19950101272 19950425

Abstract of JP 8297695 (A)

PURPOSE: To provide the method for preparing data for business management with which the estimation of business considered by a president can be supported. **CONSTITUTION:** This method is provided with a 1st process (A1) for inputting monthly set target values (A1) of respective items such as incomes, outgoings and profits in the beginning to a computer, 2nd process for transferring the same numerical values as the target values inputted in the 1st process as the predictive values of respective monthly result values (A3) and operating data for business management based on these predictive values, 3rd process for inputting the result values of a relevant month in place of the result values transferred in the 1st process in each month (A4) and operating the data for business management again, 4th process for changing the predictive values of result values in a non-execution month based on the data for business management reoperated in this 3rd process (A6) and operating the data for business management again, and 5th process for displaying the inputted and operated results of respective processes (A8).



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-297695

(43)公開日 平成8年(1996)11月12日

(51)Int.Cl.⁵

G 0 6 F 17/60
19/00

識別記号

庁内整理番号

F I

G 0 6 F 15/21
15/22

技術表示箇所

Z

3 1 0 B

審査請求 未請求 請求項の数9 O L (全 39 頁)

(21)出願番号 特願平7-101272

(22)出願日 平成7年(1995)4月25日

(71)出願人 392032317

株式会社リードコンピューター
福島県福島市烏谷野字岩田35番地の1

(72)発明者 斎藤 孝男

福島県福島市黒岩字竹ノ内12番地の2

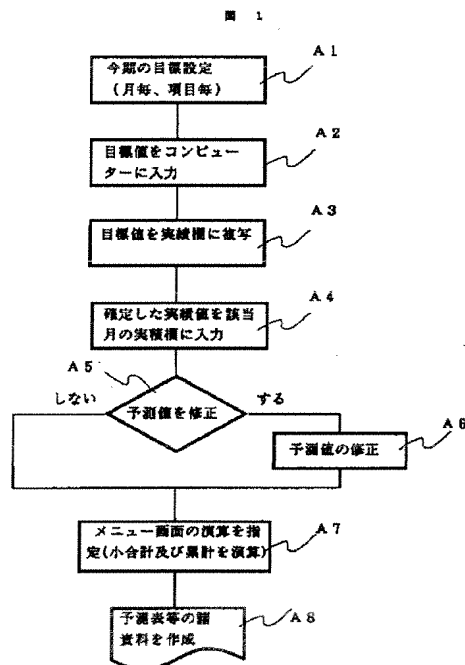
(74)代理人 弁理士 長崎 博男 (外1名)

(54)【発明の名称】 経営管理用データの作成方法、経営管理用データチャート、及び経営管理用データの作成装置

(57)【要約】

【構成】期初において、収入、支出、収益などの各項目について、各月毎に設定された目標値(A1)をコンピューターに入力する第1の工程(A2)、第1の工程で入力された目標値と同一の数値をそれぞれの月の実績値の予測値として転送し(A3)、この予測値に基づいて、経営管理用データを演算する第2の工程、各月において第1の工程で転送されている実績値の予測値の代わりに当月の実績値を入力し(A4)経営管理用データについて再演算する第3の工程と、該第3の工程で再演算された経営管理用データに基づいて未実施月の実績値の予測値を変更(A6)して経営管理用データについて再演算する第4の工程、及び、各工程の入力、演算結果を表示する(A8)第5の工程を有している。

【効果】本発明は社長が考えている経営のよみをサポートすることができる経営管理用データの作成方法を提供可能とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 期初において、収入、支出、収益等の経営管理用データの各項目について、各月毎に設定された目標値をコンピューターに入力する第1の工程、該第1の工程で入力された前記目標値と同一の数値をそれぞれの月の実績値の予測値として転送し、該予測値に基づいて、前記経営管理用データの各項目について予測値を演算する第2の工程、各月において前記第1の工程で転送されている前記実績値の予測値の代わりに当月の実績値を入力し前記経営管理用データについて再演算する第3の工程、該第3の工程で再演算された前記経営管理用データに基づいて未実施月の前記実績値の予測値を変更して前記経営管理用データについて再演算する第4の工程、及び、前記各工程の入力、演算結果を表示する第5の工程を有していることを特徴とする経営管理用データの作成方法。

【請求項2】 期初において、収入、支出、収益等の経営管理用データの各項目について、各月毎に設定した目標値をコンピューターに入力する第1の工程、該第1の工程で入力された前記目標値と同一の数値をそれぞれの月の実績値の予測値として転送し、該予測値に基づいて演算した前記経営管理用データの各項目の予測値よりなる基本表を作成する第2の工程、各月末において試算表が出来た時点において前記基本表の該当月の予測値の代わりに実績値を入力し前記経営管理用データの各項目について再演算する第3の工程、該第3の工程で再演算された前記経営管理用データに基づいて未実施月に前記実績値の代わりに入力してある予測値を変更し前記経営管理用データについて再演算する第4の工程、及び、前記各工程の入力、演算結果を表示する第5の工程を有していることを特徴とする経営管理用データの作成方法。

【請求項3】 前記第5の工程が前記第2、前記第3、あるいは前記第4の工程において得られた前記経営管理用データをあらかじめ設定されている値と比較し、その比較結果をグラフィカルに表示する工程を有する請求項1または2記載の経営管理用データの作成方法。

【請求項4】 期初において、収入、支出、収益等の経営管理用データの各項目について、各月毎に設定された目標値をコンピューターの入力端子から目標欄に入力表示する第1の工程、該第1の工程で入力表示された前記各月の目標値と同じ値を予測値として実績欄に入力表示する第2の工程、前記第2の工程で入力表示された前記予測値に基づき前記経営管理用データの各項目を演算する第3の工程、各月末において試算表ができた時点で実績値を前記実績欄に入力し前記経営管理用データを再演算する第4の工程、該第4の工程により再演算された経営管理用データの未経過月の実績欄の前記予測値を修正する必要がある場合には、該実績欄の未経過月の前記予測値を変更する第5の工程、該第5の工程による前記実績値の変更に基づき、前記経営管理用データを再演算する

第6の工程とを有することを特徴とする経営管理用データの作成方法。

【請求項5】 前記第4の工程で各月における実績値を入力して得られた前記経営管理用データに基づく、コンピューターによる標準値との比較演算結果に基づく期末における経営管理用データのシュミレーション結果を、表示装置上に表示する際に、各費目を人体の部分に割当て、達成率を色、模様の変化等で表示させて視覚表示、目視表示する工程を有していることを特徴とする請求項1から4までの何れか1項記載の経営管理用データの作成方法。

【請求項6】 前記各工程があらかじめ設定してあり、キーボードからの入力のみで動作可能で、前記経営管理用データの演算、表示を可能とする如くプログラムされているノートパソコンを使用する請求項1から5までの何れか1項記載の経営管理用データの作成装置。

【請求項7】 期初においては各項目についての各月ごとの目標値が表示される目標欄、期初においては前記各月の目標値が実績値の予測値として表示され、各月の実績値が確定した時点においては経過月には該実績値が表示され、未経過月には前記目標値が予測値として表示される実績欄と、前記目標欄、前記実績欄に表示された値に基づいて各種累積値、各種対前年比、利益、利益率等の経営管理用データを表示する欄が設けられていることを特徴とする経営管理用データチャート。

【請求項8】 コンピューターで作成され、収入、支出、収益等の経営管理用データの各項目について各月ごとに目標値、実績値、累積値等が各月ごとに入力表示され、前記目標値の入力される目標欄、経過月には実績値が、未経過月には該当月の目標値の値が予測値として入力表示される実績欄、前記未経過月の予測値が変更された時には、それに応じて該未経過月の実績値、累積値が再演算され表示される実績欄、前記目標値と前記実績値との比較により得られた値と設定限界値との比較において、各種累積値、各種対前年比、利益、利益率等の経営管理用データの診断結果を表示する欄を設けてある経営管理用データチャート。

【請求項9】 前記経営管理用データの各項目（経費、売上げまたは粗利、利益等）において、目標に対する予測の善し悪しを色彩、模様の変化等で表示する請求項8記載の経営管理用データチャート。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】本発明は、経営管理用データの作成方法（経営のよみ、サポートシステム）、経営管理用データチャート、及び経営管理用データの作成装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】現在は、中小企業においても、経営の現状分析についてはコンピューターを使用するなどして、

社長による経営分析がかなり徹底して行なわれている。

【0003】この経営分析では、期初作業として、以前の期末資料に基づき経営分析を行い、今期の月毎の目標設定を行ない、毎月毎の作業としては、実績確定月までの目標値と実績値のデータを比較分析し、諸資料を作成する。そして、これらの資料から社長の期末の収支予測を勘により行なっている。

【0004】図43はそのフローチャートを示すもので、期初の作業として、

(1) 以前期末資料に基づき経営分析をする。

【0005】(2) 今期の目標設定を行い(図43B1参照、以下符号を除き同様)、目標値をコンピューターに入力する(B2)。

【0006】毎月毎の作業として、

(3) 実績確定月までの目標と実績データ(12カ月分の目標値と確定した月までの実績値をもとに)とを比較分析し諸資料を作成する(B3)。

【0007】(4) 期末の収支予測を勘により行う(B4)。

【0008】すなわち、期初において作成された、各部署、各項目についての月毎の収入、支出、収益等についての目標値、各月の実績値、それぞれの期初からの累積値を、チャートとしてコンピューターにより求め経営分析に用いていた。しかし、経営のよみについては社長の勘にたよっている企業がほとんどであった。

【0009】

【発明が解決しようとする課題】しかし、従来行われていた経営分析は、実績値を中心とした経営活動のため、将来に対するデータが乏しく見込相違が発生しやすい状況にあった。そして、財務会計の作業の範囲内の作業として作業を行なっていたので、円単位の管理であった。

【0010】このように経営のよみについてコンピュータを十分に活用していない理由は、従来は経営のよみについて必要な収入、支出または収益の予測を行なう場合、従来の方法で求めた過去のデータに基いてシュミレーションを行なう方法をとっていたためである。

【0011】しかし最近の経営環境は変動がはげしく、過去のデータをもとにした予測では、ほとんどの企業で参考になる経営管理用データが得られない状況になってきている。すなわち、企業業績が上がるかどうかは社長の経営のよみに100%かかっており、経営のよみを行なう際、最も重要な作業として上げられる収支予測算出において、コンピューターによる出力データであっても、過去のデータによる予測では、現況に合わなくなり、参考にならなくなっており、作業のスピード化も必要となっている。

【0012】本発明は社長が考えている経営のよみをサポートできる経営管理用データの作成方法、経営管理用データチャート、及び経営管理用データの作成装置を提供可能とすることを目的とするものである。

【0013】

【課題を解決するための手段】前述の課題を解決するためにとられた本発明の構成は次の如くである。

【0014】本発明の経営管理用データの作成方法は、(1) 期初において、収入、支出、収益等の経営管理用データの各項目について、各月毎に設定された目標値をコンピューターに入力する第1の工程、該第1の工程で入力された前記目標値と同一の数値をそれぞれの月の実績値の予測値として転送し、該予測値に基づいて、前記経営管理用データの各項目について予測値を演算する第2の工程、各月において前記第1の工程で転送されている前記実績値の予測値の代わりに当月の実績値を入力し前記経営管理用データについて再演算する第3の工程、該第3の工程で再演算された前記経営管理用データに基づいて未実施月の前記実績値の予測値を変更して前記経営管理用データについて再演算する第4の工程、及び、前記各工程の入力、演算結果を表示する第5の工程を有していることを特徴とする。

【0015】(2) 期初において、収入、支出、収益等の経営管理用データの各項目について、各月毎に設定した目標値をコンピューターに入力する第1の工程、該第1の工程で入力された前記目標値と同一の数値をそれぞれの月の実績値の予測値として転送し、該予測値に基づいて演算した前記経営管理用データの各項目について予測値よりなる基本表を作成する第2の工程、各月末において試算表が出来た時点において前記基本表の該当月の予測値の代わりに実績値を入力し前記経営管理用データの各項目について再演算する第3の工程、該第3の工程で再演算された前記経営管理用データに基づいて未実施月に前記実績値の代わりに入力してある予測値を変更し前記経営管理用データについて再演算する第4の工程、及び、前記各工程の入力、演算結果を表示する第5の工程を有していることを特徴とする。

【0016】(3) (1) 又は(2)において、前記第5の工程が前記第2、前記第3、あるいは前記第4の工程において得られた前記経営管理用データをあらかじめ設定されている値と比較し、その比較結果をグラフィカルに表示する工程を有することを特徴とする。

【0017】(4) 期初において、収入、支出、収益等の経営管理用データの各項目について、各月毎に設定された目標値をコンピューターの入力端子から目標欄に入力表示する第1の工程、該第1の工程で入力表示された前記各月の目標値と同じ値を予測値として実績欄に入力表示する第2の工程、前記第2の工程で入力表示された前記予測値に基づき前記経営管理用データの各項目を演算する第3の工程、各月末において試算表ができた時点で実績値を前記実績欄に入力し前記経営管理用データを再演算する第4の工程、該第4の工程により再演算された経営管理用データの未経過月の実績欄の前記予測値を修正する必要がある場合には、該実績欄の未経過月の前記

予測値を変更する第5の工程、該第5の工程による前記実績値の変更に基づき、前記経営管理用データを再演算する第6の工程とを有することを特徴とする。

【0018】(5)(1)又は(2)又は(3)又は(4)において、前記第4の工程で各月における実績値を入力して得られた前記経営管理用データに基づく、コンピュータによる標準値との比較演算結果に基づく期末における経営管理用データのシュミレーション結果を、表示装置上に表示する際に、各費目を人体の部分に割当て、達成率を色、模様の変化等で表示させて視覚表示、目視表示する工程を有していることを特徴とする。

【0019】本発明の経営管理用データの作成装置は、(6)(1)又は(2)又は(3)又は(4)又は(5)において、前記各工程があらかじめ設定しており、キーボードからの入力のみで動作可能で、前記経営管理用データの演算、表示を可能とする如くプログラムされているノートパソコンを使用することを特徴とする。

【0020】本発明の経営管理用データチャートは、(7)期初においては各項目についての各月ごとの目標値が表示される目標欄、期初においては前記各月の目標値が実績値の予測値として表示され、各月の実績値が確定した時点においては経過月には該実績値が表示され、未経過月には前記目標値が予測値として表示される実績欄と、前記目標欄、前記実績欄に表示された値に基づいて各種累積値、各種対前年比、利益、利益率等の経営管理用データを表示する欄が設けられていることを特徴とする。

【0021】(8)コンピュータで作成され、収入、支出、収益等の経営管理用データの各項目について各月ごとに目標値、実績値、累積値等が各月ごとに入力表示され、前記目標値の入力される目標欄、経過月には実績値が、未経過月には該当月の目標値の値が予測値として入力表示される実績欄、前記未経過月の予測値が変更された時には、それに応じて該未経過月の実績値、累積値が再演算され表示される実績欄、前記目標値と前記実績値との比較により得られた値と設定限界値(危険基準、注意基準等の診断基準)との比較において、各種累積値、各種対前年比、利益、利益率等の経営管理用データの診断結果を表示する欄を設けてあることを特徴とする。

【0022】(9)(8)において、前記経営管理用データの各項目(経費、売上げまたは粗利、利益等)において、目標に対する予測の善し悪しを色彩、模様の変化等で表示することを特徴とする。

【0023】

【作用】本発明では期初において月毎に決定した目標値を実績値の予測値として用い、その予測値を基にして、コンピュータにより経営管理用のデータを作成する。そして、実績値が確定して場合は、予測値を実績値に置

き換えた状態で経営管理用のデータが作成される。

【0024】すなわち、例えば、収入、支出、収益等の任意の項目について期初に目標値を月毎に設定しておき、さらに、期初に、目標値と同じ内容を実績欄に予測値として入れておく。このように、未経過月の実績値は予測値とみなして処理が行なわれ、毎月、実績値が確定した時点で予測値を実績値に変更する。そして、期初に設定した任意の項目についての予測値に変更の必要が予想される場合は即修正する。

【0025】このようにして入力されたデータを用いることにより、例えば、収入、支出、収益等の任意の項目について月毎に目標値、実績値(未経過月は予測値としてみる)、前年値ほかについて演算した基本表を作成する。

【0026】このような基本表を基にして、年間予測表、総合評価図、項目別超過、不足表、損益分岐予測、収入、支払グラフ、中期経営計画等についての経営管理用のデータを作成することができる。

【0027】以上の作業は、財務会計とは別に作業を行ない、円単位でなく千円単位、百万単位扱いでもよい。しかし各項目の実績値については、財務会計処理で算出したデータを利用すると便利である。

【0028】従って、期末の予測計算は、経過月については実績値により、また未経過月については予測値により行われ、これによって期末の収益状況を把握する。

【0029】以上の如く、本発明の経営管理用データの作成方法では、過去のデータによる予測は行なわず、例えば、年間単位に経営のよみを行なう。このように、本発明の経営管理用データの作成方法は、実績値とその時点でのより正確な予測に基づいた経営活動のため、業績進展に強力なバックアップとなる。

【0030】すなわち、従来の如く、期初に設定した目標値に基づく経営管理用のデータとは異なり、経営情勢に速応しうる経営分析用のデータを社長に提供することができる。又、このようにして得られた経営分析用のデータを検討して結果、目標値を変更した方が適切と判断された場合は、それを実績欄に入力すれば、その値の変更に基づいて総べての計算が再演算される。この際入力するデータは各種入力することができる。

【0031】これらの操作を、例えば、ノートパソコンを使用して実施するようにすれば、社長の座右に置いて、必要な時に直ちに経営管理用データを得ることができ有効に活用することが可能である。

【0032】

【実施例】以下、実施例により本発明の経営管理用データの作成方法について説明する。

【0033】本発明の経営管理用データの作成方法の実施に当たっては、システム導入時の作業として、

(1)基本表における収入、支払、収益等のそれぞれの項目をコンピュータに登録する。

【0034】(2)(1)のそれぞれの項目毎に基準値を登録する(例えば、基準値は目標値に対して実績値がいくらの時注意シグナルを出すかの基準となり、予測値対実績値についての登録を行う。)

(3)支払の項目について、例えば、固定費か変動費かの登録を行う。

【0035】(4)登録する部門数まで(1)、(2)、(3)の登録を行う。

【0036】作業が行われる。

【0037】次に、各月において行われる作業について、図1に示した本発明の経営管理用データの作成方法のフローチャートを参照しつつ説明する。

【0038】期初作業として、

(5)以前期末資料に基づき経営分析を行う。

【0039】(6)今期の目標設定を行なう。この目標設定に当たっては、収入、支出、利益等の経営管理用データの各項目について月毎に今期の目標を設定し(図1 A1参照、以下符号のみ表示する)、目標値をコンピューターに入力する(A2)。図2は期初作業によって目標欄に目標値が入力されて得られた基本表(要部)を示すもので、行方向には、DCS売上、エニコム売上、仕入(売上原価)、粗利、給与、… 支払合計、利益を表示する欄、列方向には、目標、実績、目差、達成率、前年実績、前差及びこれらの累積値を表示する欄が設けられており、期初6月、期末5月の会社の例が示してある。この際、目標値は手作業で入力するが、小計、合計、及び、累計欄はコンピューターで自動的に演算される。

【0040】(7)月毎の目標値を該当月の実績欄に複写する(A3)。すなわち、目標欄の内容を実績欄に入れるので各月の目標値と実績値が同じ数字となる。このようにして得られた実績値は実際は未経過月であるため、以下予測値と称する。

【0041】以上の如く、目標値は従来の方法と同様の方法により決められるが、未経過月の実績値は予測値とみなして処理を行う。

【0042】図3はこの段階の基本表(要部)を示すもので、目標欄を実績欄に複写した状態を示している。図4及び図5は、このようにして決められた目標値、実績値に基づき、各項目についてコンピューターにより自動演算が行われ、得られた基本表を示すもので、業務1課の6月(期初)及び5月(期末)の出力内容を示している。図6はこれらの演算結果に基づいて粗利について行った年間シュミュレーションの結果得られたチャート及びグラフを示しているが、期初の時点では累計目標と累計実績は同額のためグラフ上で一線上に重なっている。

【0043】ここでは6月及び5月分の基本表のみを示してあるが、基本表は12ヶ月分構成される。基本表は収入、支出、収益等の経営管理用データの各項目に

ついて月毎に目標値、実績値、前年値との比較値等について演算した結果を示しているが、図4の6月(期初)分の基本表の実績欄も、図5の5月(期末)分の実績欄にもすべて予測値がはいっている。これらの基本表に基づいて年間予測表その他の資料が作成される。

【0044】毎月の作業としては、

(8)各月において月毎の試算表が出来た時点(実績値が確定次第)で、基本表の該当月の実績値に期初において予測値として入力されている目標値の代わりに実績値を手入力で入力する(A4)。当月分のデータが入力されると各項目について期初からの累計の演算のしなおしがコンピューターによる自動演算で行なわれ、年間予測表その他の資料が再作成(A7、A8)される。すなわち、12カ月分目標値と確定した月までの実績値をもとに諸資料が再作成される。

【0045】図7は6月の実績値を実績欄に入力した状態の基本表を示すもので、図8及び図9は6月の実績値の入力値に基づき、コンピューターの自動演算により作成された業務1課の6月(期初)及び5月(期末)の出力内容を示している。すなわち、図5と図9とを比較すれば6月の実績値の確定による予測値と実績値との差異が期末(5月)においてどのように影響するかが直ちに分かる。これらの基本表に基づいて年間予測表その他の資料が作成される。図10はその一つの総合評価表を示している。

【0046】(9)作成された資料の通覧により、未経過月(7月以降の各月)での収入、支出、利益等の項目中で修正が必要と判断されたものについては該当項目の該当月の実績値(予測値)を変更(A5)する。すなわち、未経過月の項目で数値を変更する必要があるときは、即修正する(A6)。

【0047】(10)この予測値の変更にともない基本表は再演算され諸資料を再作成する(A7、A8)。

【0048】図11は予測値の修正を行った状態の基本表(要部)を示すもので、5月のエニコム売り上げ実績33,000k円(図3参照)を13,000k円に修正し、5月の給与実績2,000k円(図3参照)を2,600k円に修正したものである。図12はその場合の5月(期末)のコンピューターの画面出力を示している。図13はこれに伴って修正された営業1課の年間シュミュレーションの結果を示している。

【0049】これらの図の作成において、実績値は手作業で入力するが、小合計の行は自動演算されるので入力する必要はなく、累計実績欄はコンピューターで自動的に算出される。

【0050】以上の如く、実績欄の扱いにおいては経過している月は本当の実績が入っていて実績データ扱いとするが、未経過月の実績欄(期初に目標値を転写した値またはその後に修正した値が入っている)については予測データ扱いとなっている。

【0051】目標値、確定月までの実績値及び期末収支予測データに基づき表及びグラフ等が作成される。

【0052】この年間予測表は、チャート形式の他に、図10に示すような図形を用いて視覚的に判断できる表示を用いることもできる。

【0053】図10の表示においては、項目を例えば人体の部分に割り当て、例えば、身体の頭部、上半身部、下半身部で、それぞれ、利益、売上げまたは粗利、経費を表すものとし、色彩（例えば、赤、黄、青）または模様によって、目標に対して予測の善し悪しを、目標に対して予測がとても良い、多少問題あり、目標に対して予測がとても悪い状態を表示させるようにして、一目して経営状況の善し悪しを読みとることを可能とするものである。

【0054】図14は7月の試算表が得られた状態、すなわち6月及び7月の試算表の得られた状態の基本表（要部）、図15及び図16は図14の基本表（要部）に基づいて演算された7月及び5月（期末）のシュミレーション結果を示している。図17は5月（期末）のシュミレーション結果を人体を用いて表した総合評価図を示し、図18はこれらの演算結果に基づいて粗利について行った年間シュミレーションの結果得られたチャート及びグラフを示している

以上の経営管理用データの作成方法により以下に示すような各種の表を作成することができる。

【0055】（イ）収入、支出システム。収入、支出、収益等の任意の項目について月毎に目標値、実績値（未経過月は予測値としてみる）、前年値他について計算した表（例えば、図4、図8参照）を作成する。

【0056】（ロ）年間予測表。図6は例えば業務1課の年間予測表（経過月は実績値、未経過月は予測値により作成されている）で、この表に基づき期初及び各月の実績確定時において年間シュミレーションを行うことができる。例えば、図6には粗利についての年間シュミレーションをグラフで示してある。

【0057】（ハ）総合評価図。図10は総合評価図の一例を示している。

【0058】（ニ）項目別超過、不足表。目標値と実績値との比較により得られた値と設定限界値（危険規準、注意規準等の診断基準）とを比較して、危険を表示する欄を設けてあるチャートで、各月現在の目標超過、不足（率）の表示と実績について示してある。図19は業務1課の6月現在の予測超過、不足（率）の表示と実績について示してある。図20は同じく6月現在の目標超過、不足（率）、図21は図20と同じく6月現在の目標超過、不足（額）を示しており、これらの表には診断結果に基づき「注意」、「危険」が表示される。

【0059】（ホ）損益分岐グラフ。図22は業務1課の損益分岐シュミレーションのグラフで、常時経営状態の損益分岐シュミレーションが可能である。

【0060】（ヘ）収入、支払グラフ。各月までの支払、収入（累目標、累実績、累前年比）であり、図23は業務1課の6月までの収入、図24は7月までの支払のチャート及びグラフを示している。

【0061】（ト）中期経営計画。図40は業務1課の中期経営計画表の一例を示している。

【0062】以上の如く、この実施例における経営管理用データの作成方法はコンピューターによる出力資料においては、

過去のデータによる予測は行なわない。

【0063】1期間単位に経営のよみを行なう（年間単位とする）。

【0064】収入、支出等の経営管理用データの各項目について期初に月毎に目標値を設定しておく。期初に、目標値と同じ内容を実績欄に入れておく、未経過月の実績値は予測値とみなし処理を行なう。

【0065】期初に設定した任意の項目の予測値に変更が予想される場合は即修正する。

【0066】毎月実績値が確定した時点で予測値を実績値に変更する。入力当月分データのみ行ない、期初からの累計についてはコンピューターにより自動計算を行なう。

【0067】期末の予測計算は、経過月については実績値により、また未経過月については予測値により期末の収益状況を把握する。

【0068】もので、各月の実績値の入力に基づきコンピューターが自動的に演算し、この算出されデータに基づき予測値を訂正すると、この未経過月の実績値に入力された予測値に基づきすべてのデータが修正され、次の月はこのデータに基づいて計算された各種データが社長に与えられる。また、入力データによりシュミレーションを行うことができる。期初及び各月の実績確定時における年間シュミレーションが実施される。

【0069】企業業績が上がるかどうかは社長の経営のよみの100%がかかっているためこのような経営管理用データの作成方法の効果は極めて大きい。

【0070】本発明は、このような方法を用いることにより、実績値とその時点でのより正確な予測に基づいた経営管理用データを用いる経営活動を可能とし、業績進展に強力なバックアップとなるもので、経営のよみを行なう際、最も重要な作業として上げられる収入支出予測算出についての従来の問題点である、過去のデータによる予測では、現況に合わなくなり、参考にならなくなっている問題点を除去しうるものである。また、作業のスピード化が必要であるという問題に対しては、例えば、ノートパソコンを使用する独自のプログラムの開発により、手元に置いて、いつでも、必要な時に、直ちに状況の把握が可能であり、必要があれば即座にシュミレーションが可能であって、作業の効率化を計ることができる。ションを行うことができる。

【0071】次に、図25～40によって、以上の操作をノートパソコンを用いる本発明の他の実施例について説明する。図25に示したメニュー画面は本発明の経営管理用データの作成方法による経営管理システムの管理対象を選択する画面で、図26は図25のメニュー画面で業務1課を選択した場合のメニュー画面で、実施項目の選択画面である。図27は図26のメニュー画面でそのデータ入力指定した場合の画面で処理すべき月の選択画面、図28は図27で6月を指定した場合の画面で、データ入力画面を示している。図29は図28において1. 通常入力指定した場合の画面で、キー操作により全項目が入力できる。図30は図28で2. 転記入力を指定した場合の入力画面である。図31は項目別データ入力画面で、図31の例えばDCSを選んで登場入力を指定した場合に入力が可能になる。図32において2. 転記入力を指定すると図33のメニュー画面となり、この画面で複写元、複写先の月、対象となる欄を入力（この場合は6、7、11）すなわち、図33に示す如く入力して実行すると図34の上、下に示すように、DCSの6月の目標値が7月から11月まで入る。

【0072】図35は図26のオプション機能を選択した場合のメニュー画面を示している。

【0073】図36は中期経営計画用メニュー画面を示すもので、図37には入力画面、入力実行後の画面を示しており、図38及び図39は平成6年から平成15年間の中期経営計画における営業1課の出力データを示したもので、図40はこれらの出力に基づき得られた粗利、支払、利益についての比較図及びグラフを示している。

【0074】図41及び図42は本発明の方法で作成された経営管理用データと従来の方法で作成された経営管理用データの出力内容を比較して示したもので、図41は本発明の場合、図42は従来の場合を示している。6、7月は実績データが得られた状態であって、図42の従来の場合には予測データはなかったが、図41の本発明の場合には、6、7月は実績データが記載され、8月から期末までは実績値欄に予測データが入力されており、これらのデータによってシュミレーションが行われグラフが表示される。

【0075】以上の如く、この実施例の経営管理用データの作成方法はすべてのシステムをノートパソコンに組み込んでおくことにより、いつでも、どこでも、手軽に経営管理用のデータを作成し経営に役立てることを可能とするものである。

【0076】以上の実施例は1部門の場合、ある角度からみた場合についての例を示したが、一般的に言って、（1）部門毎の処理も可能である。

【0077】図1のフローチャートの期初作業、毎月の作業は1部門としての作業として示してあるが、複数部門の処理も可能にすることができる。例えば、図25の

メニュー画面の該当部門を指定して処理を行なうことができ、部門合計も処理可能である。

【0078】（2）別の角度からみた場合の仮の予測値により資料をみることもできる。このような場合には、例えば、下記手順により容易に作業が実施可能である。

【0079】（イ）現在本番で使用しているファイル（以下本番ファイルと称する）を別のフロッピーに保管しておく。図26のメニュー画面のデータ書出しを指定すれば直ちに結果を得ることができる。

【0080】（ロ）本番ファイルを仮の予測値に変更し資料作成をする。その後で（イ）でフロッピーに保管したデータ（本番内容）を本番ファイルに戻しておく。

【0081】このような方法によれば、どんな角度からの修正資料の作成も可能である。

【0082】すなわち、今期の最低でこのような予測ができるとか、最高でみればこのような予測となるとかを容易に知ることができる。また目標の設定変更も可能である。

【0083】（3）新企画の収・支予測算出も可能である。

【0084】本番ファイルを容易に別のフロッピーに保管できるため、新企画の収・支予測も現行の収支項目にもとづいたかたちで行うことができる。そしてその新企画の内容もフロッピーに保管しておき、必要の都度諸資料を作成することができる。

【0085】また、特定した部門を新企画分として使用すれば、新企画部門の収・支予測も可能となり、更に現行本番部門と新企画部門との総合計の予測もでき、新企画で実施した場合の企業の将来のパワーもよみとることができる。

【0086】（4）中期経営計画も容易に作成可能である。図36～40は中期経営計画の作成方法を示している。

【0087】期末の経営管理ファイル（フロッピー）を読み込ませることにより実績期間の入力ができるので、あとは計画の年間上昇率を入力することにより諸資料を作成することが可能である。もちろん金額の修正も自由にできる。

【0088】（5）入力作業は千円単位で、ノートパソコンを使用し、操作は簡単である。従来の財務会計とは別に作業を行うが、各項目の実績値については、財務会計で算出したデータを利用すると便利である。

【0089】財務会計にはない項目の設定も、もちろん可能である。

【0090】（6）実績値とその時点でのより正確な予測値に基づいた経営活動のため、業績伸展に強力なバックアップとなる。

【0091】

【発明の効果】本発明の経営管理用データの作成方法は、

(1) 経営のよみを行なう際最も重要な予測について知ることができる。すなわち、この予測値は過去のデータからのものではなく、現時点での各収入、支出項目についての最新データから算出したものであるため、予測値は最も理想に近い状態で算出できる。期中時点で期末の予測利益が瞬時にわかる。この予測値が常に、社長の経営のよみを行なう際の重要な手がかりとなる。

【0092】(2) ノートパソコン(携帯用パソコン)を使用しデータの入力に千円単位で行なう。通常の財務会計とは別に活用することができ、予測計算はコンピューターを使用し瞬時に行なうことができる。

【0093】(3) 予測に関する資料として、表のほか、グラフ、図などを作成することができる。事前に基準値をコンピューターに登録しておき予測値などを基準値とを比較することによりその評価をグラフまたは評価図として(カラーによる表示も含めて)わかりやすく表示出力することができる。

(4) この経営管理用データにもとづいて行われる企業の戦略会議は、過去のデータばかりでなく今期末の予測資料を参考に作戦を立てることができる。毎月毎日の成果が今期末の予測値となって表示されるため、毎月出力する今期末の予測値は変動するが、従来考慮に入れなかった期末の予測利益を意識した毎月の戦略会議は従来より前向きな、数値を先どりしたかたちで、積極的に展開できる。

【0094】(5) 新企画業務の収支予測も瞬時に行なうことができる。

【0095】この場合、新企画部門を、現行の部門とは別に管理し、新規企画部門だけのものと、現行部門と新規企画部門の合計のものと別々にすることができる。

【0096】新企画業務を実施した場合の会社全体としてまたはその新企画業務だけをみた場合の収益状況がすぐわかる。(月毎に新企画部門の予測データを入力することにより瞬時に作成することができる。)

(6) 中期経営計画資料も作成することができる。

【0097】(7) その他シュミレーションによる予測値をさらに別の角度からシュミレーションを行なうこともできる。

【0098】例えば目標とした期末利益を確保するためには、経過分実績を考慮した場合、未経過分の努力目標をどのような数値にすれば達成できるかなどシュミレーションを行うことができる。

【0099】以上の如く、本発明は、社長が考えている経営のよみをサポートできる経営管理用データの作成方法を提供可能とするもので、産業上の効果の大なるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の経営管理用データの作成方法の一実施例のフローチャートである。

【図2】本発明の経営管理用データの作成方法の一実施

例の期初作業によって目標値を入力した段階の基本表(要部)の説明図である。

【図3】同じく期初作業により目標値を実績欄に複写して得られた状態の基本表(要部)の説明図である。

【図4】同じく基本表の一つ(期初)の説明図である。

【図5】同じく基本表の一つ(期末)の説明図である。

【図6】同じく年間シュミレーションの一つの説明図である。

【図7】同じく毎月の作業として実算値が確定した状態の基本表(要部)の説明図である。

【図8】同じく実算値が確定した状態の一つ(6月末)の基本表である。

【図9】同じく実算値が確定した状態の一つ(期末)の基本表である。

【図10】同じく総合評価図である。

【図11】同じく毎月の作業として実算値が確定した段階(7月末)の入力基本表(要部)の説明図である。

【図12】同じく実算値が確定した段階(7月末)の基本表の一つ(期末)である。

【図13】同じく年間シュミレーションの一つの説明図である。

【図14】同じく毎月の作業で未確定月の実績値(予測値)を変更し段階の基本表(要部)である。

【図15】同じく未確定月の実績値(予測値)を変更した段階の基本表の一つ(7月)である。

【図16】同じく未確定月の実績値(予測値)を変更した段階の基本表の一つ(期末)である。

【図17】同じく年間シュミレーションの一つの説明図である。

【図18】同じく総合評価図の説明図である。

【図19】同じく基本表に基づき得られた経営管理用データの一つの説明図である。

【図20】同じく基本表に基づき得られた経営管理用データの一つの説明図である。

【図21】同じく基本表に基づき得られた経営管理用データの一つの説明図である。

【図22】同じく基本表に基づき得られた経営管理用データの一つの説明図である。

【図23】同じく基本表に基づき得られた経営管理用データの一つの説明図である。

【図24】同じく基本表に基づき得られた経営管理用データの一つの説明図である。

【図25】本発明の経営管理用データの作成方法の他の一実施例のメニュー画面の一つの模式図である。

【図26】同じくメニュー画面の一つの模式図である。

【図27】同じくメニュー画面の一つの模式図である。

【図28】同じくメニュー画面の一つの模式図である。

【図29】同じくメニュー画面の一つの模式図である。

【図30】同じくメニュー画面の一つの模式図である。

【図31】同じくメニュー画面の一つの模式図である。

【図 3 2】同じくメニュー画面の一つの模式図である。

【図 3 3】同じくメニュー画面の一つの模式図である。

【図 3 4】同じく図 3 3 のメニューの実施結果を示す画面の説明図である。

【図 3 5】同じくメニュー画面の一つの模式図である。

【図 3 6】同じくメニュー画面の一つの模式図である。

【図 3 7】同じく図 3 6 のメニューの実施結果を示す画面の説明図である。

【図 3 8】同じく図 3 7 の詳細を示す説明図である。

【図 3 9】同じく図 3 7 の詳細を示す説明図である。

【図 4 0】本発明のシュミレーション結果を示す説明図である。

【図 4 1】本発明による経営管理用データチャートの説明図である。

【図 4 2】従来法による経営管理用データチャートの説明図である。

【図 4 3】従来法による経営管理用データの作成方法のフローチャートである。

【符号の説明】

A 1 … 今期の目標設定、A 2 … 目標値をコンピューターに入力、A 3 … 目標値を実績欄に複写、A 4 … 確定した実績値を該当月の実績欄に入力、A 5 … 予測値を修正、A 6 … 予測値の修正、A 7 … メニュー画面の演算を指定、A 8 … 予測表等の資料を作成。

【図 2】

(10)

特開平8-297695

【図1】

【図33】

図 33

項目名	DCS			1 目標 2 実績 カーソルにより選んで 指定します
複写元	6	月の	目標	
複写先	7	月から	11	月の 目標

【図3】

図 3

(期初6月期末5月の会社の例)

	項目名	目標	実績	目差	達成率	前年実績	前差	累計					
								目標	実績	目差	達成率	前年実績	前差
6月	D C S 売上	10,000	10,000					10,000	10,000				
	エニコム売上	30,000	30,000					30,000	30,000				
	仕入(売上原価)	10,000	10,000					10,000	10,000				
	粗利	30,000	30,000					30,000	30,000				
	給与	2,000	2,000					2,000	2,000				
	支払合計	28,000	28,000					28,000	28,000				
	利益	2,000	2,000					2,000	2,000				

	項目名	目標	実績	目差	達成率	前年実績	前差	累計					
								目標	実績	目差	達成率	前年実績	前差
7月	D C S 売上	12,000	12,000					22,000	22,000				
	エニコム売上	30,000	30,000					60,000	60,000				
	仕入(売上原価)	10,000	10,000					20,000	20,000				
	粗利	32,000	32,000					62,000	62,000				
	給与	2,000	2,000					4,000	4,000				
	支払合計	29,000	29,000					57,000	57,000				
	利益	3,000	3,000					5,000	5,000				

	項目名	目標	実績	目差	達成率	前年実績	前差	累計					
								目標	実績	目差	達成率	前年実績	前差
8月	D C S 売上	10,000	10,000					32,000	32,000				
	エニコム売上	30,000	30,000					90,000	90,000				
	仕入(売上原価)	8,000	8,000					28,000	28,000				
	粗利	32,000	32,000					94,000	94,000				
	給与	3,000	3,000					7,000	7,000				
	支払合計	23,000	23,000					85,000	85,000				
	利益	4,000	4,000					9,000	9,000				

9月

6月と同じ

4月

	項目名	目標	実績	目差	達成率	前年実績	前差	累計					
								目標	実績	目差	達成率	前年実績	前差
5月	D C S 売上	12,000	12,000					124,000	124,000				
	エニコム売上	33,000	33,000					363,000	363,000				
	仕入(売上原価)	12,000	12,000					104,000	104,000				
	粗利	33,000	33,000					363,000	363,000				
	給与	2,000	2,000					33,000	33,000				
	支払合計	31,000	31,000					340,000	340,000				
	利益	2,000	2,000					43,000	43,000				

【図25】

図 25

-----経営管理システム-----

★ 業務1課	
★ 業務2課	
★ 業務3課	★ 各部門目標実績
★ 総 合	利益グラフ
	★ 各部門目標実績
	★ 終 了

※ 画面も参照して下さい

【図26】

図 26

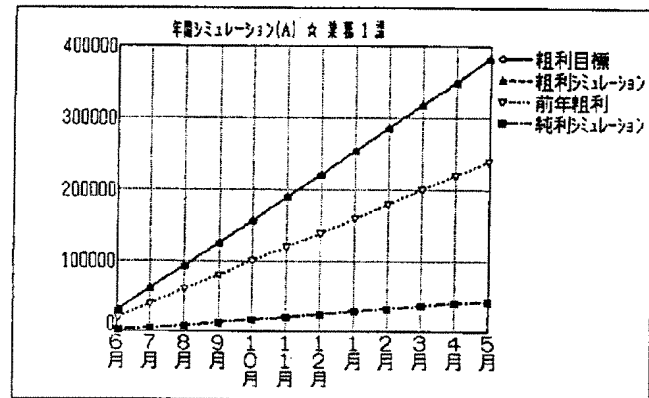
-----業務1課 経営管理システム-----

★ データ入力	★ データ印字
★ 計 算	★ データ読込み
★ 年間グラフ	★ データ書出し
★ 経営診断	★ 記入用紙印刷
★ 月刊グラフ	★ 終 了
★ 損益分岐グラフ	★ オプション機能

※ 画面も参照して下さい

【図6】

図 6



単位:千円

月	項目名称	累計目標	累計実績	累計前年実績	達成率	目標差	前年実績差	利益
6月	粗利金額	30,000	30,000	20,000	100%	0	10,000	2,000
7月	粗利金額	62,000	62,000	40,000	100%	0	22,000	5,000
8月	粗利金額	94,000	94,000	60,000	100%	0	34,000	9,000
9月	粗利金額	126,000	126,000	80,000	100%	0	46,000	13,000
10月	粗利金額	158,000	158,000	100,000	100%	0	58,000	17,000
11月	粗利金額	190,000	190,000	120,000	100%	0	70,000	21,000
12月	粗利金額	222,000	222,000	140,000	100%	0	82,000	25,000
1月	粗利金額	254,000	254,000	160,000	100%	0	94,000	29,000
2月	粗利金額	286,000	286,000	180,000	100%	0	106,000	33,000
3月	粗利金額	318,000	318,000	200,000	100%	0	118,000	37,000
4月	粗利金額	350,000	350,000	220,000	100%	0	130,000	41,000
5月	粗利金額	383,000	383,000	240,000	100%	0	143,000	45,000

【図27】

図 27

処理する月を選択して下さい

0月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
4月
5月

終了

↑で戻ります 44 で印刷

【図7】

図 7

(期初6月期末5月の会社の例)

累計 累計 累計 累計 累計 累計

	項目名	目標	実績	目差	達成率	前年実績	前差	目標	実績	目差	達成率	前年実績	前差
6月	D C S 売上	10,000	9,000					10,000	9,000				
	エニコム売上	30,000	33,000					30,000	33,000				
	仕入(売上原価)	10,000	11,000					10,000	11,000				
	粗利	30,000	31,000					30,000	31,000				
	給与	2,000	1,900					2,000	1,900				
	支払合計	28,000	27,000					28,000	27,000				
	利益	2,000	4,000					2,000	4,000				

	項目名	目標	実績	目差	達成率	前年実績	前差	目標	実績	目差	達成率	前年実績	前差
7月	D C S 売上	12,000	12,000					22,000	21,000				
	エニコム売上	30,000	30,000					60,000	63,000				
	仕入(売上原価)	10,000	10,000					20,000	21,000				
	粗利	32,000	32,000					62,000	63,000				
	給与	2,000	2,000					4,000	3,900				
	支払合計	29,000	29,000					57,000	56,000				
	利益	3,000	3,000					5,000	7,000				

	項目名	目標	実績	目差	達成率	前年実績	前差	目標	実績	目差	達成率	前年実績	前差
8月	D C S 売上	10,000	10,000					32,000	31,000				
	エニコム売上	30,000	30,000					90,000	93,000				
	仕入(売上原価)	8,000	8,000					28,000	29,000				
	粗利	32,000	32,000					94,000	95,000				
	給与	3,000	3,000					7,000	6,900				
	支払合計	23,000	23,000					35,000	34,000				
	利益	4,000	4,000					9,000	11,000				

9月

8月と同じ

4月

	項目名	目標	実績	目差	達成率	前年実績	前差	目標	実績	目差	達成率	前年実績	前差
5月	D C S 売上	12,000	12,000					124,000	123,000				
	エニコム売上	33,000	33,000					363,000	366,000				
	仕入(売上原価)	12,000	12,000					104,000	105,000				
	粗利	33,000	33,000					383,000	384,000				
	給与	2,000	2,000					33,000	32,900				
	支払合計	31,000	31,000					340,000	339,000				
	利益	2,000	2,000					43,000	45,000				

【図28】

図 28

月文字	項目名称	目標	実績	説明を記入して下さい
6月				1. 運営入力
7月				2. 販売入力
8月				3. 終了
9月				1と2で異なります 4. で選択
10月				

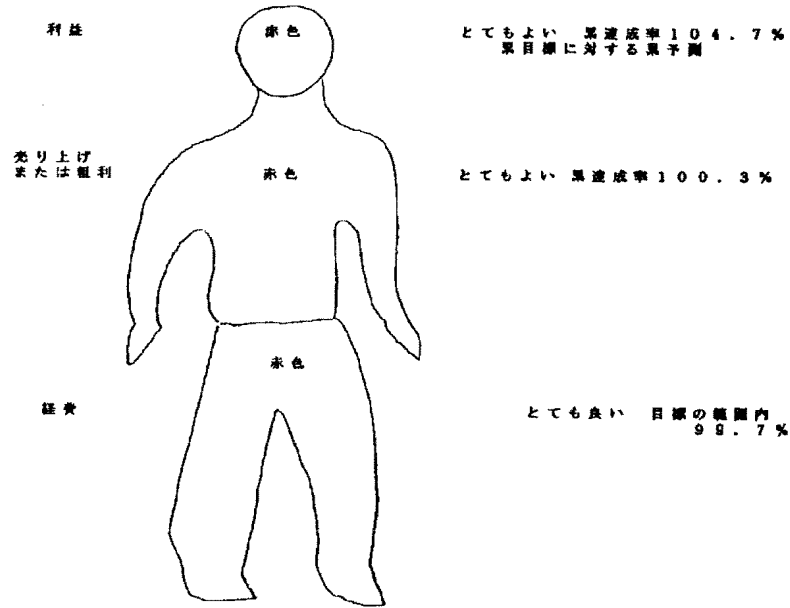
【図9】

[illegible]

【図10】

図 10

5月末累計で予測評価（期末）



色彩	模様	判定所見
赤	○	目標に対し予測がとても良い
黄	⊙	目標に対し予測に多少問題あり
青	⊗	目標に対し予測がとても悪い

【図29】

図 29

月文字	項目名称	目標	実績	前年実	前前年実	目標
6月	ITCS	10,000	9,000	0	0	-1000
6月	エニコム	20,000	33,000	30,000	30,000	3000
6月
6月
.
.

【図11】

図 11

		累計		累計		累計		累計		累計		累計	
	項目名	目標	実績	日差	達成率	前年実績	前差	目標	実績	日差	達成率	前年実績	前差
6月	D C S 売上	10,000	9,000					10,000	9,000				
	エニコム売上	30,000	33,000					30,000	33,000				
	仕入(売上原価)	10,000	11,000					10,000	11,000				
	粗利	30,000	31,000					30,000	31,000				
	給与	2,000	1,900					2,000	1,900				
	支払合計	28,000	27,000					28,000	27,000				
	利益	2,000	4,000					2,000	4,000				

項目名	目標	実績	日差	達成率	前年実績	前差	目標	実績	日差	達成率	前年実績	前差
7月	D C S 売上	12,000	13,000				22,000	22,000				
	エニコム売上	30,000	11,000				60,000	44,000				
	仕入(売上原価)	10,000	9,000				20,000	20,000				
	粗利	32,000	15,000				62,000	46,000				
	給与	2,000	1,900				1,000	3,300				
	支払合計	29,000	27,000				57,000	54,000				
利益	3,000	△12,000					5,000	△8,000				

項目名	目標	実績	日差	達成率	前年実績	前差	目標	実績	日差	達成率	前年実績	前差
8月	D C S 売上	10,000	10,000				32,000	32,000				
	エニコム売上	30,000	30,000				90,000	74,000				
	仕入(売上原価)	3,000	8,000				28,000	28,000				
	粗利	32,000	32,000				94,000	78,000				
	給与	3,000	3,000				7,000	6,300				
	支払合計	23,000	20,000				85,000	32,000				
利益	4,000	4,000					9,000	△4,000				

9月

8月と同じ

4月

項目名	目標	実績	日差	達成率	前年実績	前差	目標	実績	日差	達成率	前年実績	前差
5月	D C S 売上	12,000	12,000				124,000	124,000				
	エニコム売上	33,000	12,000				363,000	327,000				
	仕入(売上原価)	12,000	12,000				104,000	104,000				
	粗利	33,000	13,000				383,000	317,000				
	給与	2,000	2,600				33,000	33,400				
	支払合計	31,000	31,600				310,000	337,600				
利益	2,000	△8,600					43,000	9,400				

【図31】

図 31

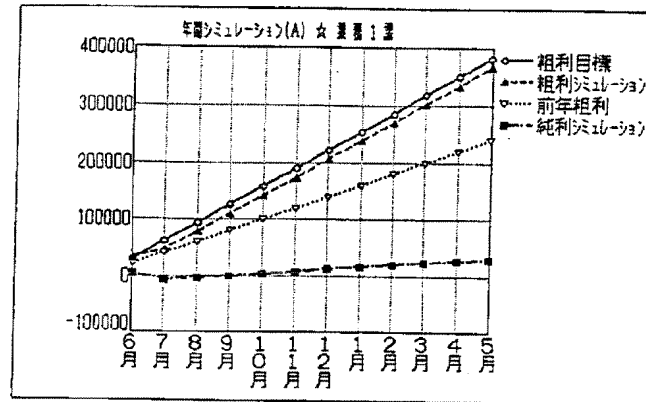
項目別データ入力

項目名称
D C S
エニコム
...
...
...

※数値は円と単位を記入してください

【図13】

図 13



単位:千円

月	項目名称	累計目標	累計実績	累計前年実績	達成率	目標差額差	前年差額差	利益
6月	粗利金額	30,000	31,000	20,000	103.33%	1,000	11,000	1,000
7月	粗利金額	62,000	46,000	40,000	74.19%	-16,000	6,000	-8,000
8月	粗利金額	94,000	78,000	60,000	82.98%	-16,000	18,000	-1,000
9月	粗利金額	126,000	110,000	80,000	87.3%	-16,000	30,000	0
10月	粗利金額	158,000	142,000	100,000	89.87%	-16,000	42,000	4,000
11月	粗利金額	190,000	174,000	120,000	91.58%	-16,000	54,000	8,000
12月	粗利金額	222,000	206,000	140,000	92.79%	-16,000	66,000	12,000
1月	粗利金額	254,000	238,000	160,000	93.7%	-16,000	78,000	16,000
2月	粗利金額	286,000	270,000	180,000	94.41%	-16,000	90,000	20,000
3月	粗利金額	318,000	302,000	200,000	94.97%	-16,000	102,000	24,000
4月	粗利金額	350,000	334,000	220,000	95.43%	-16,000	114,000	28,000
5月	粗利金額	382,000	367,000	240,000	95.82%	-16,000	127,000	30,000

【図30】

図 30

月別転記入力

複写元

6

月の

目標

複写先

6

月の

実績

1 目標
2 実績
3 複写元
4 複写先

【図14】

図 14

		累計		累計		累計		累計		累計		累計	
	項目名	目標	実績	目差	達成率	前年実績	前差	目標	実績	目差	達成率	前年実績	前差
6月	D C S 売上	10,000	9,000					10,000	9,000				
	エニコム売上	30,000	33,000					30,000	33,000				
	仕入(売上原価)	10,000	11,000					10,000	11,000				
	粗利	30,000	31,000					30,000	31,000				
	給与	2,000	1,900					2,000	1,900				
	支払合計	28,000	27,000					28,000	27,000				
	利益	2,000	4,000					2,000	4,000				

項目名	目標	実績	目差	達成率	前年実績	前差	目標	実績	目差	達成率	前年実績	前差
7月	D C S 売上	12,000	13,000				22,000	22,000				
	エニコム売上	30,000	11,000				60,000	44,000				
	仕入(売上原価)	10,000	9,000				20,000	20,000				
	粗利	32,000	15,000				62,000	46,000				
	給与	2,000	1,000				4,000	3,800				
	支払合計	29,000	27,000				57,000	54,000				
利益	3,000	△12,000					5,000	△8,000				

項目名	目標	実績	目差	達成率	前年実績	前差	目標	実績	目差	達成率	前年実績	前差
8月	D C S 売上	10,000	10,000				32,000	32,000				
	エニコム売上	30,000	30,000				90,000	74,000				
	仕入(売上原価)	3,000	0,000				20,000	28,000				
	粗利	32,000	32,000				94,000	78,000				
	給与	3,000	3,000				7,000	6,800				
	支払合計	29,000	28,000				65,000	32,000				
利益	4,000	4,000					9,000	△4,000				

9月

8月と同じ

4月

項目名	目標	実績	目差	達成率	前年実績	前差	目標	実績	目差	達成率	前年実績	前差
5月	D C S 売上	12,000	12,000				124,000	124,000				
	エニコム売上	33,000	33,000				363,000	347,000				
	仕入(売上原価)	12,000	12,000				104,000	104,000				
	粗利	33,000	33,000				333,000	367,000				
	給与	2,000	2,000				33,000	32,800				
	支払合計	31,000	31,000				340,000	337,000				
利益	2,000	2,000					43,000	30,000				

512

[illegible]

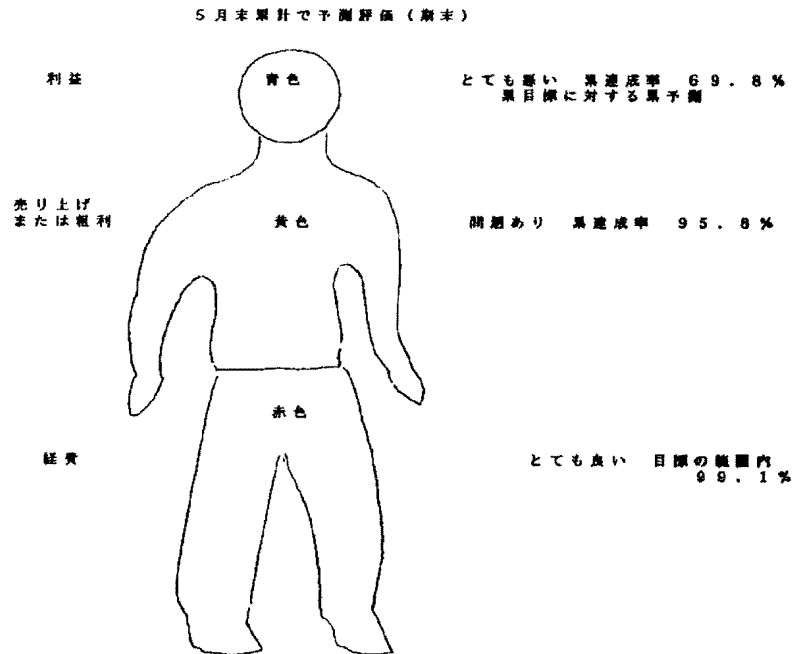
【※16】

168

[illegible]

【図17】

図 17



色 彩	模 様	判 定 所 見
赤		目標に対し予測がとても良い
黄		目標に対し予測に多少問題あり
青		目標に対し予測がとても悪い

【図36】

図 36

実績年度設定

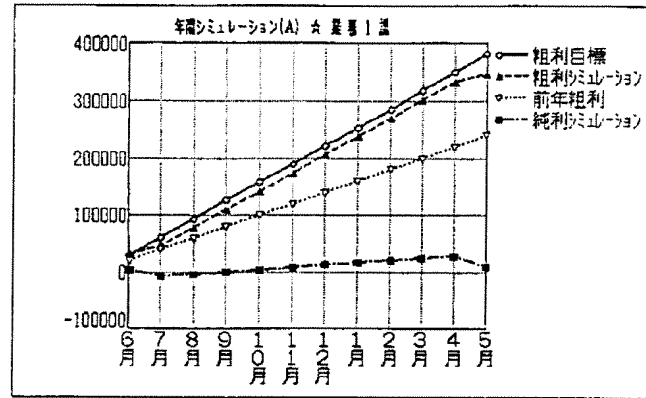
実績年度 年 ~ 年まで
(西 暦)

計画率欄に計画上昇率を
入力します%で。

実行ー→1994年（平成6年）
期末フロッピー入力する

【図18】

図 18



単位:千円

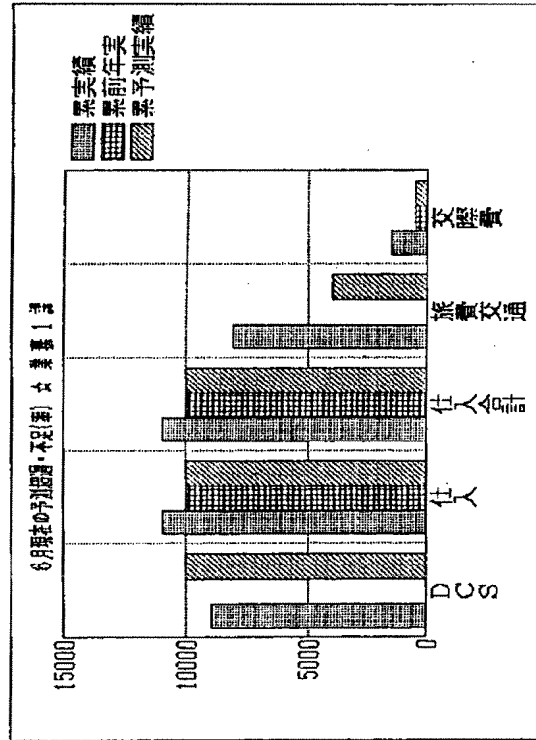
月	項目名称	累計目標	累計実績	累計前年実績	達成率	目標実績差	前年実績差	利益
6月	粗利金額	30,000	31,000	20,000	103.33%	1,000	11,000	4,000
7月	粗利金額	62,000	46,000	40,000	74.19%	-16,000	6,000	-8,000
8月	粗利金額	94,000	78,000	60,000	82.98%	-16,000	18,000	-4,000
9月	粗利金額	126,000	110,000	80,000	87.3%	-16,000	30,000	0
10月	粗利金額	158,000	142,000	100,000	89.87%	-16,000	42,000	4,000
11月	粗利金額	190,000	174,000	120,000	91.58%	-16,000	54,000	8,000
12月	粗利金額	222,000	206,000	140,000	92.79%	-16,000	66,000	12,000
1月	粗利金額	254,000	238,000	160,000	93.7%	-16,000	78,000	16,000
2月	粗利金額	286,000	270,000	180,000	94.41%	-16,000	90,000	20,000
3月	粗利金額	318,000	302,000	200,000	94.97%	-16,000	102,000	24,000
4月	粗利金額	350,000	334,000	220,000	95.43%	-16,000	114,000	28,000
5月	粗利金額	382,000	367,000	240,000	96.05%	-16,000	126,000	32,000

【図32】

図 32

月文字	項目名称	目標	処理を選択してください
6月	D C S	9,000	1 通常入力
7月	D C S	13,000	2 振込入力
8月	D C S	10,000	3 終了
9月	D C S	10,000	
10月	D C S	10,000	
11月	D C S	10,000	
12月	D C S	10,000	
1月	D C S	10,000	
2月	D C S	10,000	
3月	D C S	10,000	
4月	D C S	10,000	
5月	D C S	10,000	

【例 19】

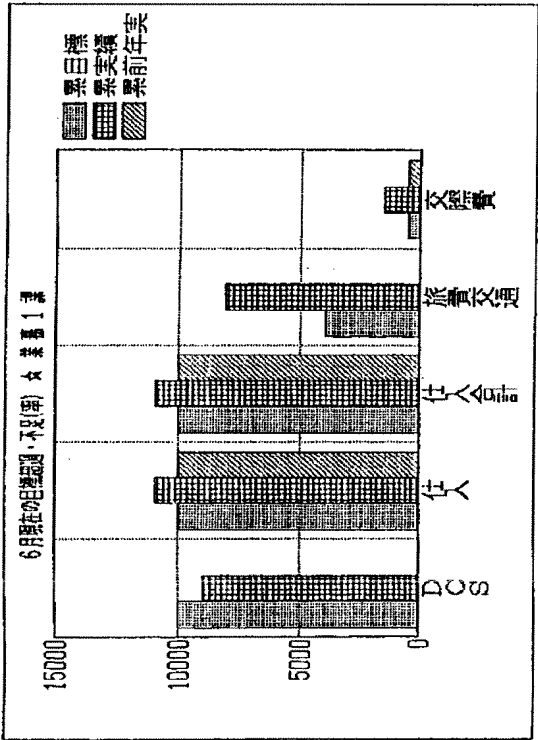


項目名称	累計子題	累計榮獲	累計兩年榮獲	子達成率	子題榮獲率	前年榮獲差	危險基準	注基準差
DCS	10,000	9,000	0	90	1,000	9,000	70%	99.99%
主	10,000	11,000	10,000	110	-1,000	1,000	120%	100.01%
注	10,000	11,000	10,000	110	-1,000	1,000	120%	100.01%
主	10,000	11,000	10,000	110	-1,000	1,000	120%	100.01%
注	10,000	11,000	10,000	110	-1,000	1,000	120%	100.01%
主	4,000	8,100	0	202.5	4,100	8,100	120%	100.01%
注	500	1,500	500	900	-1,000	1,000	120%	100.01%

単位:千円

【図20】

図 20

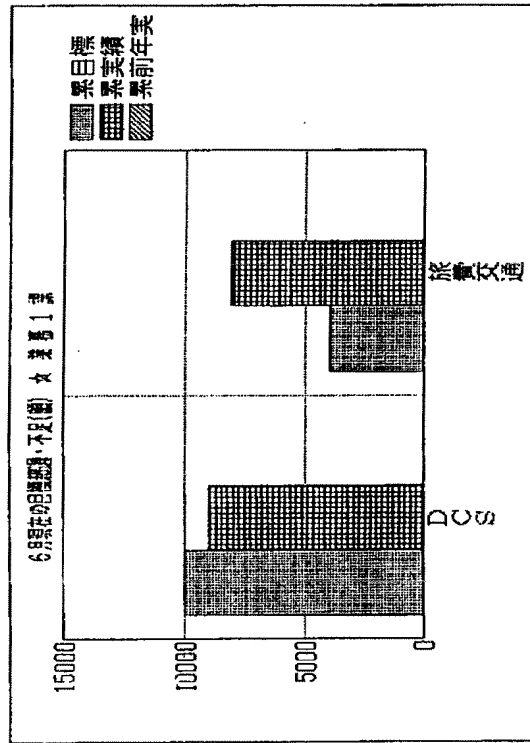


項目名称	診断	累計目標	累計実績	累計前年実績	達成率	目標差	前年差	診断基準	
								危険基準	注意基準
DCS	注	10,000	9,000	0	90	-1,000	9,000	70%	99.99%
仕入	注	10,000	11,000	10,000	110	1,000	1,000	120%	100.01%
仕入合計	注	10,000	11,000	10,000	110	1,000	1,000	120%	100.01%
旅費交通	注	4,000	8,100	0	202.5	4,100	8,100	120%	100.01%
交際費	注	500	1,500	500	300	1,000	1,000	120%	100.01%

単位:千円

【図21】

図 21

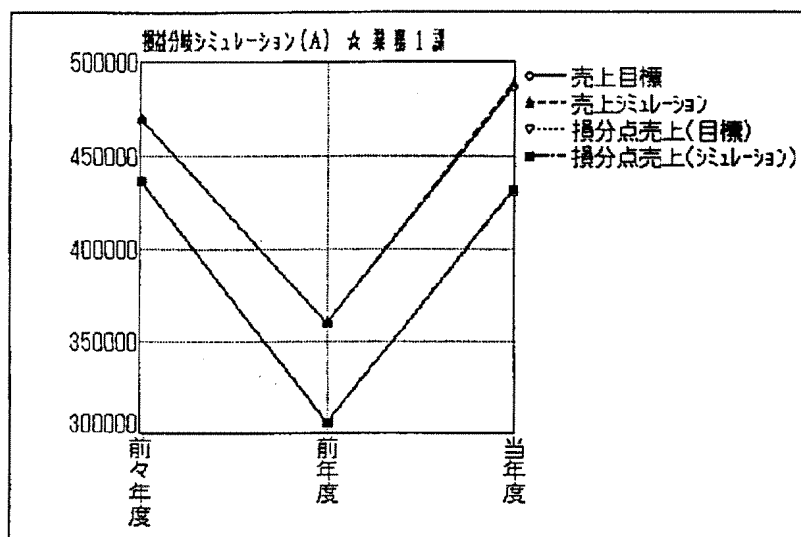


項目名称	総額	累計目標	累計実績	累計前年実績	達成率	目標差額率	前年実績率	特別基準	
								危険基準	注意基準
DCS	10,000	10,000	9,000	0	90	-1,000	9,000	7,000	9,999
旅費交通	90	90	202.5	0	202.5	4,100	8,100	4,800	4,001

単位:千円

【図22】

図 22



目標		売上額	固定費用	変動費用	損益分岐売上
	当年度	487,000	340,000	104,000	432,324
実績・予測	前々年度	470,000	325,000	120,000	436,429
	前年度	360,000	204,000	120,000	306,000
	当年度予測	489,000	339,000	105,000	431,695

【図35】

図 35

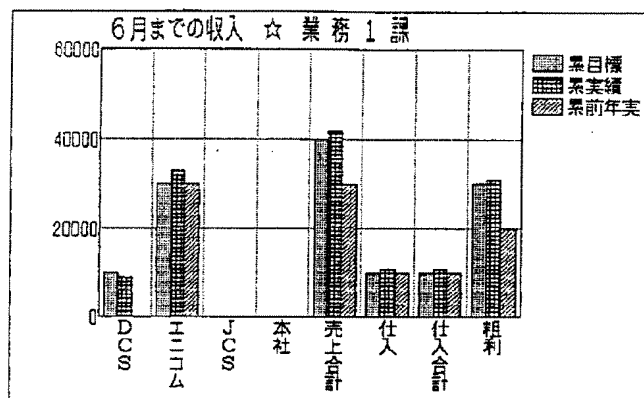
メニュー画面 その10

処理を選択してください	
1	期初月目標を以降の月の目標に複写
2	期初月実績を以降の月の実績に複写
3	実績を前実績に 前実績を前前実績に複写
4	実績より目標の自動設定を行う
5	データの初期化
6	終了

↑ ↓ キーで指定します 実行キーで選択

【図23】

図 23



単位:千円

項目名称	累計目標	累計実績	累計前年実績	達成率	目標実績差	前年実績差
DCS	10,000	9,000	0	90.0%	-1,000	9,000
エニコム	30,000	33,000	30,000	110.0%	3,000	3,000
JCS	0	0	0	100.0%	0	0
本社	0	0	0	100.0%	0	0
売上合計	40,000	42,000	30,000	105.0%	2,000	12,000
仕入	10,000	11,000	10,000	110.0%	1,000	1,000
仕入合計	10,000	11,000	10,000	110.0%	1,000	1,000
粗利	30,000	31,000	20,000	103.3%	1,000	11,000

【図34】

図 34

(実行前)

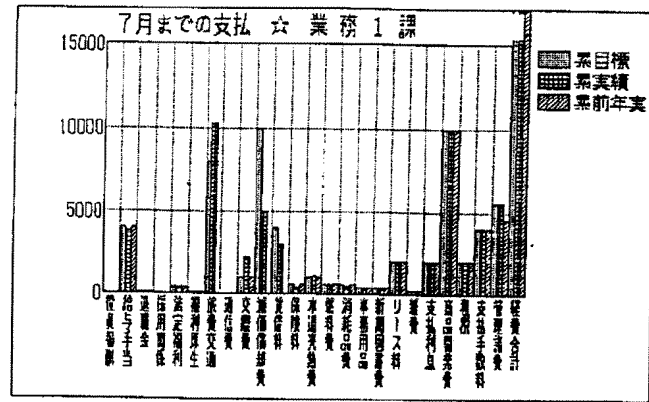
月文字	項目名称	目標		
6 月	DCS	9,000		
7 月	DCS	13,000		
8 月	DCS	10,000		
9 月	DCS	10,000		
10 月	DCS	10,000		
11 月	DCS	10,000		
12 月	DCS	10,000		
1 月	DCS	10,000		

(実行後)

月文字	項目名称	目標		
6 月	DCS	9,000		
7 月	DCS	9,000		
8 月	DCS	9,000		
9 月	DCS	9,000		
10 月	DCS	9,000		
11 月	DCS	9,000		
12 月	DCS	10,000		
1 月	DCS	10,000		

【図24】

図 24



項目名称	累計目標	累計実績	累計前年実績	達成率	目標実績差	前年実績差
役員報酬	0	0	0	100.0%	0	0
給与手当	4,000	3,800	4,000	95.0%	-200	-200
退職金	100	100	100	100.0%	0	0
経理関係	0	0	0	100.0%	0	0
法定福利	400	400	400	100.0%	0	0
福利厚生	100	100	100	100.0%	0	0
経費交通	8,000	10,200	0	127.5%	2,200	10,200
通信費	60	60	60	100.0%	0	0
交際費	1,000	2,200	1,000	220.0%	1,200	1,200
減価償却費	10,000	5,000	0	50.0%	-5,000	5,000
賃借料	4,000	3,000	0	75.0%	-1,000	3,000
保険料	600	400	600	66.7%	-200	-200
水道光熱費	1,000	1,100	1,000	110.0%	100	100
燃料費	600	600	600	100.0%	0	0
消耗品費	600	500	600	83.3%	-100	-100
事務用品	400	400	400	100.0%	0	0
新聞図書費	400	400	400	100.0%	0	0
リース料	2,000	2,000	3,000	100.0%	0	0
雑費	200	200	200	100.0%	0	0
支払利息	2,000	2,000	2,000	100.0%	0	0
商品開発費	10,000	10,000	10,000	100.0%	0	0
租税	2,000	2,000	2,000	100.0%	0	0
支払手数料	4,000	4,000	4,000	100.0%	0	0
管理費	5,540	5,540	4,540	100.0%	0	1,000
経費合計	57,000	54,000	34,000	94.7%	-3,000	20,000

単位:千円

【図37】

図 37

入力画面

項目名称	平均率	計画率	平成6年	平成7年	8	9
D C S		5	124,000			
エニコム		5	327,000			
売上合計			451,000			
売上原価		6	104,000			
粗利			347,000			
給与手当		2	33,400			

入力実行後画面

項目名称	平均率	計画率	平成6年	平成7年	8	9
D C S		5	124,000	130,200	136,710	143,546
エニコム		5	327,000	343,350	360,513	378,544
売上合計			451,000	473,550	497,223	522,090
売上原価		6	104,000	110,240	116,354	123,065
粗利			347,000	363,310	380,874	398,225
給与手当		2	33,400	34,063	34,743	35,444

【図38】

図 38

平成6年～平成15年 間の中期経営計画の概要：経

平成15年12月31日

平均指標	平成6年		平成7年		平成8年		平成9年		平成10年	
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
DCS	5%	124,000		130,200	3%	136,710		143,546		150,725
三三三	5%	327,000		343,550		360,518		378,544		397,473
JCS	5%	0		0		0		0		0
基本	5%	0		0		0		0		0
その他		451,000		473,550		497,228		522,086		548,552
法人	6%	104,000		110,240		116,854		123,865		131,297
法人合計		104,000		110,240		116,854		123,865		131,297
個別		347,000		363,310		380,374		398,223		416,397
設備増強	2%	0		0		0		0		0
設備更新	2%	33,400		34,653		34,749		35,444		36,153
設備投資	2%	600		612		624		636		640
固定資産	2%	0		0		0		0		0
固定資産	2%	2,400		2,448		2,497		2,547		2,598
投資	2%	600		612		624		636		640
投資	2%	51,204		51,204		52,223		53,275		54,338
投資	2%	800		807		814		821		826
投資	2%	7,200		7,344		7,491		7,641		7,793
投資	2%	45,000		46,110		47,220		48,336		49,453
投資	2%	23,000		23,460		23,920		24,388		24,864
投資	2%	3,400		3,468		3,537		3,608		3,680
投資	2%	6,100		6,222		6,346		6,473		6,602
投資	2%	3,500		3,570		3,641		3,714		3,788
投資	2%	2,400		2,448		2,497		2,547		2,598
投資	2%	2,400		2,448		2,497		2,547		2,598
投資	2%	12,000		12,240		12,485		12,735		12,991
投資	2%	1,200		1,224		1,248		1,273		1,298
投資	2%	12,000		12,240		12,485		12,735		12,991
投資	2%	61,000		61,200		62,424		63,672		64,945
投資	2%	12,000		12,240		12,485		12,735		12,991
投資	2%	24,000		24,480		24,970		25,469		25,978
投資	2%	22,240		22,688		23,139		23,602		24,074
投資	2%	0		0		0		0		0
投資	2%	377,500		384,552		391,257		398,262		405,626
投資	2%	9,400		18,958		28,137		39,563		51,471

【図39】

図 39

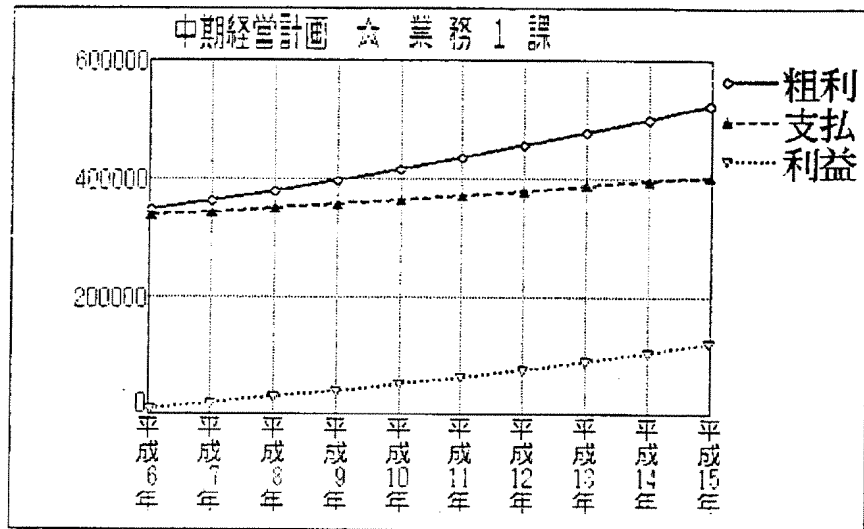
平成6年		平成15年		平成12年		平成13年		平成14年		平成15年	
平均株価	計画増減	実績	増減	実績	増減	実績	増減	実績	増減	実績	増減
D.C.S	5%	158,259		166,172	174,481			183,205		192,365	
ユニコム	5%	417,345		438,212	460,123			485,179		507,285	
J.C.S	5%	0		0	0			0		0	
エフエフ	5%	0		0	0			0		0	
東二会社		375,614		604,384	634,694			656,334		699,553	
法人	5%	139,175		147,526	156,378			165,761		175,707	
法人合計		139,175		147,526	156,378			165,761		175,707	
総計		436,429		656,858	473,226			500,973		523,943	
夜間開演	2%	0		0	0			0		0	
協賛企業	2%	36,876		37,614	38,366			39,133		39,916	
協賛企業	2%	661		675	689			703		717	
企画委員会	2%	0		0	0			0		0	
企画委員会	2%	2,650		2,703	2,757			2,812		2,868	
企画委員会	2%	662		675	689			703		717	
企画委員会	2%	56,455		56,534	57,655			58,813		59,994	
企画委員会	2%	307		307	313			321		329	
企画委員会	2%	7,950		8,109	8,271			8,436		8,605	
企画委員会	2%	61,724		61,938	62,177			62,441		62,730	
企画委員会	2%	25,334		25,302	25,420			25,548		25,687	
企画委員会	2%	3,754		3,809	3,869			3,934		4,004	
企画委員会	2%	6,734		6,809	6,889			6,974		7,065	
企画委員会	2%	3,974		4,053	4,134			4,217		4,301	
企画委員会	2%	3,584		3,641	3,699			3,761		3,828	
企画委員会	2%	2,650		2,703	2,757			2,812		2,868	
企画委員会	2%	13,250		13,515	13,785			14,061		14,342	
企画委員会	2%	1,324		1,350	1,377			1,405		1,435	
企画委員会	2%	13,250		13,515	13,785			14,061		14,342	
企画委員会	2%	66,244		67,569	68,920			70,298		71,704	
企画委員会	2%	13,250		13,515	13,785			14,061		14,342	
企画委員会	2%	26,408		27,028	27,669			28,332		29,028	
企画委員会	2%	24,545		25,046	25,547			26,058		26,579	
企画委員会	2%	0		0	0			0		0	
企画委員会	2%	372,737		380,191	387,695			395,250		402,852	
企画委員会	2%	0		0	0			0		0	
企画委員会	2%	63,692		76,667	90,431			105,023		120,484	

平成6年～平成15年 間の中期経営計画 ☆ 業績 1 歳

印字日:1994年12月15日

【図40】

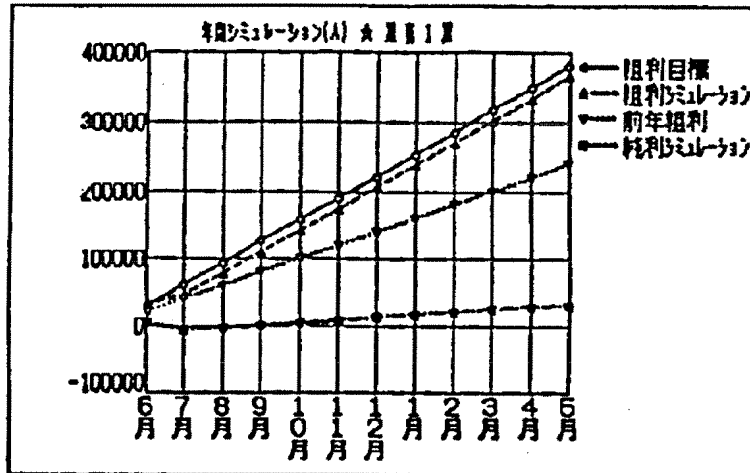
図 40



☆ 業務1課
平成6年～平成15年間の中期経営計画 1994年12月15

元号和暦	粗利	支払	利益
平成6年	347,000	337,600	9,400
平成7年	363,310	344,352	18,958
平成8年	380,374	351,237	29,137
平成9年	398,225	358,262	39,963
平成10年	416,897	365,426	51,471
平成11年	436,429	372,737	63,692
平成12年	456,858	380,191	76,667
平成13年	478,226	387,795	90,431
平成14年	500,573	395,550	105,023
平成15年	523,943	403,459	120,484

【図41】

図
41

単位:千円

月	項目名称	累計目標	累計実績	累計前年実績	達成率	月間実績差	前年実績差	利益
6月	粗利	20,000	31,000	20,000	103.33%	11,000	11,000	4,000
7月	粗利	42,000	46,000	40,000	109.52%	6,000	6,000	-4,000
8月	粗利	64,000	78,000	60,000	121.88%	14,000	18,000	-4,000
9月	粗利	126,000	110,000	80,000	87.3%	-16,000	30,000	0
10月	粗利	158,000	122,000	100,000	77.22%	-36,000	42,000	4,000
11月	粗利	190,000	174,000	120,000	91.58%	-16,000	54,000	4,000
12月	粗利	222,000	206,000	140,000	92.79%	-16,000	66,000	12,000
1月	粗利	254,000	238,000	160,000	93.7%	-16,000	78,000	16,000
2月	粗利	286,000	270,000	180,000	94.4%	-16,000	90,000	20,000
3月	粗利	318,000	292,000	200,000	91.8%	-26,000	102,000	24,000
4月	粗利	350,000	314,000	220,000	90%	-36,000	114,000	28,000
5月	粗利	382,000	336,000	240,000	88%	-46,000	126,000	32,000

【図42】

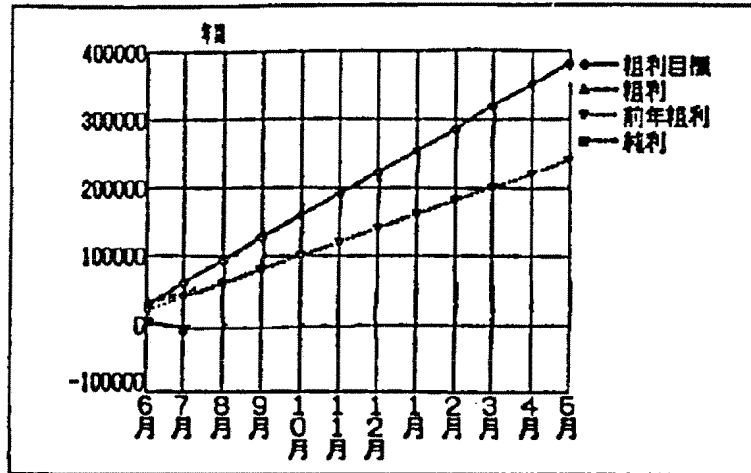
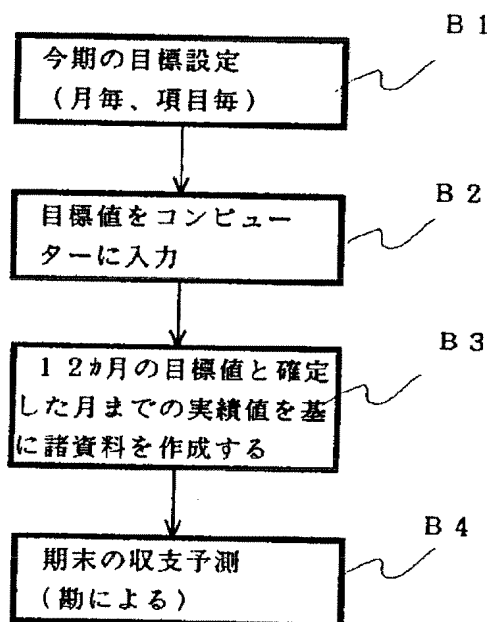


図 42

		単位:千円						
月	科目名称	累計目標	累計実績	累計前年実績	達成率	目標差額	前年実績差	残高
6月	仕入	50,000	31,000	20,000	103.33%	1,000	11,000	4,000
7月	仕入	62,000	46,000	40,000	74.19%	-16,000	6,000	-4,000
8月	仕入	74,000	50,000	40,000				
9月	仕入	86,000	54,000	50,000				
10月	仕入	98,000	58,000	60,000				
11月	仕入	110,000	62,000	70,000				
12月	仕入	122,000	66,000	80,000				
1月	仕入	134,000	70,000	90,000				
2月	仕入	146,000	74,000	100,000				
3月	仕入	158,000	78,000	110,000				
4月	仕入	170,000	82,000	120,000				
5月	仕入	182,000	86,000	130,000				

【図43】

図 43



【手続補正書】

【提出日】平成7年8月24日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図8

【補正方法】変更

【補正内容】

【図8】同じく実算値が確定した状態の一つ（6月末）の基本表の説明図である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図9

【補正方法】変更

【補正内容】

【図9】同じく実算値が確定した状態の一つ（期末）の基本表の説明図である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図12

【補正方法】変更

【補正内容】

【図12】同じく実算値が確定した段階（7月末）の基本表の一つ（期末）の説明図である。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図14

【補正方法】変更

【補正内容】

【図14】同じく毎月の作業で未確定月の実績値（予測値）を変更した段階の基本表（要部）の説明図である。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図15

【補正方法】変更

【補正内容】

【図15】同じく未確定月の実績値（予測値）を変更した段階の基本表の一つ（7月）の説明図である。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図16

【補正方法】変更

【補正内容】

【図16】同じく未確定月の実績値（予測値）を変更した段階の基本表の一つ（期末）の説明図である。